

明るい郷土

住みよい高萩

市 報
たかはぎ

第 15 號

毎月一回5日発行

發行 高 萩 市 役 所

編 集 總 務 課

印刷 藤枝印刷所

新らしい村づくり

新農村振興對策協議會発足

本年度は予備計画地域

農山漁村を振興し、農山漁民の生活水準の向上を図るために「新農村建設総合対策」というものが推進され

を立てるのだと云う観念をもつて凡ゆる問題を討議検討し下から積みあげた計画をもつて新しい「村づく

り一の完成に万全を期されるよう念願する次第であります。

高萩市第一地域農村振興
協議會委員 きまろ

委 員	〃	〃	監 事	〃	〃	副 會 長	會 長
--------	---	---	--------	---	---	-------------	--------

大山	下松	皆翁	小山	大佐	大時	柴神	宇坪	矢榎	大黑	大吉	沼小
都田	本藤	川野	本部	都藤	崎田	長美	佑和	代谷	友沢	高田	峰
直定	清勝	源之助	市公	善七郎	重高	直教	知德	惠壽	武雄	留三郎	新吉
輝夫	雄美	美助	夫道	七郎	高教	類榮	寿広	凱	雄三	泰五郎	秀満

新農村建設 畫基礎調查員 任命

全国の実施されている新農村建設計画の基礎調査員に市が次の者を任命した。本調査の重大性に鑑み十二月四日市役所に調査員を集めて事務打ち合せを行ない調査の万全を期した。

基礎調査は調査種目が大別して十種目よりなり調査内容も申告の欄とききとりの

柴加柴荒下沼大大根
田藤田川田田森高本
しよ豊祐満保き
げ子吉介男雄く和榮

沼田直光
今川孝夫
沼田一雄
棚谷寛
大谷貞喜
棚谷一良
大部繁

欄となつてゐるので農家各位は調査員に協力せられ正しい申告をするようお願いいたします。

そして今度の基礎調査がなぜ必要であるかと申しますと新しい計画を立てるために先づ土台となるものが必要です。

其の土台とは、それは皆様の経営の実態を知ることであります。

従来の種々の調査によつてのみではほんとうの姿をつかむことが困難でありますので、この調査を行い、ほんとうの姿をしつかりとつかんで今までは此の点がどうゆゑ溢路によつて改善が出来得なかつたのだ。と問題となる所を見出し農業経営の改善、土地改良、生活改善、等一つづつを具体的に取上げて皆様と共に計画の中におり込んでゆくこととするわけであります。

そうゆうことによつて農家全体が計画的な農業の経営を行ひ所得の水準を引上げ生活の向上が期待されるのであります。

それで此の調査は他の資料に使つたり他に洩らすようなことは絶対にないということは勿論でありますのでありますを調査表にあらわしていただきます。

坂本竹雄
下山田哲也
根本榮
新倉定吉
村山朝喜
川井武
磯野定男
磯木三郎
鈴木祭茂
戸祭茂義
安島安之助
大高一雄
矢代初太郎
佐藤庄次
江尻三之丞
神永四郎吉
高萩藤吾
塚本善七郎
八巻伊勢次郎
瀧正夫
作山榮一
作山義二
佐藤頼
鈴木光男
鈴木光男
松本信美
小野辰太郎
小野博
大久保一
篠原新之助
斎藤捨
青山正
小野寅次郎
大高喜隆
鈴木政雄
長久保寅次
小野豊

高萩市納税完遂促進運動 實施について

市財政収入の大宗をなす市税の収入を確保することは危機に直面している市財政の窮状を打開して健全財政の確立を図る当面の最も大きな問題であります。

市税の滞納額は約二千万円に達しておりその額は累増の一途をたどりつゝあります。こゝにおいて左記要領により納税完遂促進運動を強力に推進し現年度九五％滞納繰越分五〇％の徴收を目標に実施するものとする

- ① 運動の期間
十一月二十日より十二月三十一日まで
- ② 運動の要領
- ③ 懸垂幕の設置
市役所及び支所の玄関入口に設置する
- ④ 横断幕の設置
市内樞要の地に横断幕を設置する
- ⑤ 立看板の設置
駅前広場に立看板を設置する
- ⑥ スライドの上映
高萩劇場にスライドを上映し納税思想の昂揚につとめる
- ⑦ 特設警励班の編成
運動期間中納税警励班を編成し納税完納警励班を行う
- ⑧ 特設滞納整理班の編成
運動期間中滞納整理班を編成し長期滞納者
- ⑨ 高額滞納者に対する差押物件引上げ公売の実施を行う
- ⑩ ニュースカーによる宣伝小型自動車やニュースカーとして宣伝用チラシを配付市内を巡回納税完納強調をはかる
- ⑪ 納税ポスターの募集
市内各小中学校児童生徒にポスターの製作を依頼各家庭に持帰らしめ適当な個所に掲示せしめる尚作品中優秀なものには賞品を授与し市役所支所の前に展示する
- ⑫ 一斉検札の実施自動車荷車の一斉検札(路上検査別検査)を実施し無鑑札の調査を行う
- ⑬ 映画会の開催映画会を市内三ヶ所に開催し納税組合設立の勸奨納税思想の昂揚納税者日頃の勞をねぎらう

年末納税完遂促進運動 (11月20日より12月31日まで)

市税を完納 いたしましょう

税金を納めることはなぜ大切なことでしょうか……それは私達が生活していくうへにぜひ必要な道路橋梁の改良教育の施設保健衛生施設農林商工業の振興社会保障の施設等色々な施設や改良の資金となるからであります。これらの資金が完全に充たされるか否かは直接私達の生活にひびいてくるからです。

市はこの期間に税の完納を目ざして納税完遂運動を行うことになりました是非御協力を御願ひします。

納税貯蓄組合に加入して楽に納税致しましょう。

納税貯蓄組合には色々な特典があります是非加入して完納致しましょう

市税を完納して輝かしい新春を迎えましょう

納税組合だより

卵貯金組合で優良だった

下手綱第一納税組合

日掛納税貯金を
初めた体験發表

納税の大切な事は知つていながら兎角忘れられ勝て知らず知らず滞納する様になり何期も積み重なつてとうとう手も足も出なくなるのがほんとに恐ろしいことです。

勿論その外に種々の事情もありませうが大抵の場合はこうしてたまつてしまふのではありません。

私共下町の組合員もこの悩みから切り抜きたい、それにはどうする事が一番いい方法なのかと四什話し合つていたのでした。幸いに部落婦人の集りで三ヶ年計画の一日一ヶ卵貯金を始めたのが当時一人六千五百円程になつていました。その時の生産班長齋藤恒好さんや卵貯金の世話をして荒川祐介さん等から婦人の手でも一つがなばつて納税組合をつくつてはどうかといふ提案もあつて滞納の解消に道車をかけられましてので出来るかどうかあやぶみながらも市の係の方から指導も受けて一人十円から三十円位まで税額によつての日掛納税貯金を始めることになりました。

十五名の組合員は全部農家で野菜や卵の収入があるから何とか続けられるだろうと始まつたが、日掛の集金その整理、納税の世話等その他個人各自に色々な悩みも出て来て、困難は、又お話を外でした。

幸いその苦しみも組合員の努力で一年三ヶ月、日掛を継続して居ります。

そのおかげで期間中税金に対する心配はなく完納されればかりか善引いた残り貯金で今迄あつた滞納も整理されてきました。合併前の滞つていた税金も遠からず、きれいに納められていくことだろうと考へて居ります。私共組合員は納税の苦勞がなくなつただけでなくほんとうに幸福になりました。

十円、二十円の日掛ですが誠に貴い金額です。

古い諺ですが「塵も積つて山となる」全く味つて甘みのあることばです。

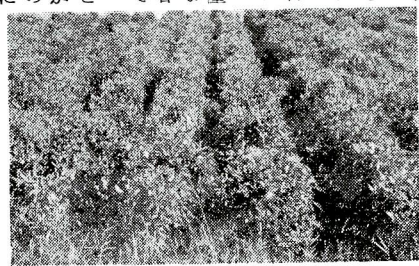
それにつけてもこんな苦勞をしながら納める税金なのだからほんとうに

明るく市民の爲に使つて戴きたいと考へるのです。

去る九月二十七日優良納税組合として市当局より表彰を受けました、女の力だつただけに組合の有難さを感じたいと思ひこれからはますます励むことを誓つています、その際組合員の反省として申し上げた一端です。

順調だった試作 唐辛子

茨城県下の唐辛子栽培面積は、約五〇〇町歩と云はれ其のうち四〇〇町歩は、お隣の栃木県に入ると一千余町歩の契約面積を持つ吉岡食品工業株式会社との契約により本年度、市が取り扱つて十六農家へ試作させて栽培全園場の生育状況を栽培者全員を集めて去る十月十日視察した。その結果は大體普通作で平均反当七十貫の収穫が予想され寒播きによる育苗と、本圃での肥培管理に努力すれば、本場の反収をあげることになる。



大高年次さん試作唐辛子生育状況
るへいたとよく考へてい

市財政事情書

地方自治法第二百四十四條第一項に基く「財政事情書の作製及び公表に関する條例（昭和三十年高萩市條例第九號）の定めるところによつて昭和三十一年十一月一日公表した自昭和三十一年四月至昭和三十一年九月における高萩市財政事情書は次のとおりであります。

ま え が き

市政の伸展は市民各位の市政に対する深い理解と御協力を俟つてその健全な発展を期し得るものであつて市政の基礎となるものは申すまでもなく市財政であり、これが運営いかんは、市民各位の福祉に大きな影響をもつものであります。こゝにその概要を公表し向

様の御批判と御協力をお願いする次第であります。

一、昭和三十一年度前期才入才出予算について

①一般会計について
昭和三十一年度当初予算につきましては、消費的経費の節約を図り出来る限り投資的経費に振り向

けた予算を編成致しました。当初予算の才入総額は一、二五、二七、三七三円才出総額も同額であります。尙本年九月末までの追加更正が行われたので九月末現在の予算額は一、四二、三九一、三二二円と増額し、当初予算に比べ一七、一六三、九四九円の増加となっております。詳細については別表のとおりであります。

②特別会計について
当初予算額は、四、四九、九六六円で前年度に比べ一、二六六、七八六円の増となつています。当期中の追加更正額はあります。内容については別表（一、二）のとおりであります。

昭和31年度特別會計才入才出予算状況（2）

才 入		才 出	
科 目	当初予算額	4月9月までの追加更正額	9月末現在予算総額に対する割合
1. 公企業及財産収入	3,994,466		98%
2. 繰越金	500,000		11%
3. 雑収入	500		
才入合計	4,494,966		

才 入		才 出	
科 目	当初予算額	4月9月までの追加更正額	9月末現在予算総額に対する割合
1. 都市計画事業費	4,494,966		100%
才出合計	4,494,966		

昭和31年度一般會計予算状況（1）

才 入		才 出	
科 目	当初予算額	4月9月までの追加更正額	9月末現在予算総額に対する割合
1. 市 税	54,045,000		88%
2. 地方交付税	24,500,000	2,100,000	19%
3. 公企業及財産収入	348,645	2,414,500	2%
4. 使用料及手数料	1,240,213	206,440	1%
5. 国庫支出金	37,480,338	5,796,630	30%
6. 県支出金	1,378,075	154,370	1%
7. 寄附金	628,520	200,000	1%
8. 繰越金	1,600,000	3,315,320	3%
9. 雑収入	358,582	661,689	1%
10. 市 債	3,648,000	2,352,000	4%
才入合計	125,227,373	17,163,949	

才 入		才 出	
科 目	当初予算額	4月9月までの追加更正額	9月末現在予算総額に対する割合
1. 議会費	2,334,500	503,000	2%
2. 役所費	26,905,826	419,802	19%
3. 消防費	2,941,000	281,260	2%
4. 土木費	6,925,030	9,923,006	12%
5. 教育費	15,360,110	1,868,160	12%
6. 社会及勞務施設費	52,411,985	195,075	37%
7. 保険衛生費	2,972,060	176,060	2%
8. 産業経済費	3,909,475	1,161,292	3%
9. 財産費	983,489	1,533,025	2%
10. 統計調査費	169,800	9,370	0.1%
11. 選挙費	573,430	—	0.4%
12. 公債費	3,624,018	173,050	3%
13. 諸支出金	5,816,710	920,849	5%
14. 予備費	300,000	—	0.2%
才出合計	125,227,373	17,163,949	

二、昭和三十一年度前期収入支出の概況

①一般会計について
昭和三十一年四月一日より昭和三十一年九月三十日までの収入総額は、七〇、五五四、一六二円、支出総額は、五五、六一二、五六七円であつて当期末の才入才出差引残金は、一四、〇四一、五九五円となります。以上で詳細は別表のとおりであります。

②特別会計について
都市計画事業特別会計分収入総額は、一、三四七、一九九円、支出総額は、五三〇、三九七円であつて当期末の才入才出差引残

金は八一六、八〇二円となります。以上の詳細は別表3、4のとおりであります。（四頁掲載）

三、昭和三十一年度決算見込額について

①一般会計について
才入決算見込額一三〇、一八四、七九一円
才出決算見込額一二五、二六九、四七一円
才入才出差引残金四、九一五、三二〇円は昭和三十一年度への繰越金であります。決算の状況は別表のとおりであります

②特別会計について
才入決算見込額一六、五一七円才出決算見込額一、三四〇、〇八一円才入才出差引残金四、三三三、五八四円は昭和三十一年度への繰越金であつて決算の状況については別表（五、六）のとおりであります。（五頁掲載）

四、市民の市税負擔の状況

別表（7）のとおりであります（六頁掲載）



昭和31年度一般會計才入状況表 (昭和31年9月末現在) (3)

科 目	予 算 額	調定済額	収 入 済 額			予算に比し収入済額	
			前 期	後 期	計	増	減
1 市 税	54,045,000	47,461,291	22,718,754		22,718,754		31,326,246
1 普 通 税	53,995,000	46,288,158	22,713,604		22,713,604		31,281,396
2 市 民 税	10,946,600	11,909,430	4,782,771		4,782,771		6,163,829
3 固定資産税	26,589,000	22,755,155	11,282,061		11,282,061		15,306,939
4 自轉車荷車税	1,457,400	2,326,607	847,970		847,970		609,430
5 たばこ消費税	6,500,000	2,888,290	2,888,290		2,888,290		3,611,710
6 電気ガス税	3,200,000	1,049,833	1,005,213		1,005,213		2,194,787
7 鑛 産 税	3,600,000	1,221,600	1,221,600		1,221,600		2,378,400
8 木材引取税	1,700,000	413,643	685,399		685,399		1,014,601
9 入 湯 税	2,000						2,000
9 廣 告 税		600	300		300	300	
2 舊法による税	50,000	1,173,133	5,150		5,150		44,850
2 地方交付税	26,600,000	19,969,000	19,969,000		19,969,000		6,631,000
3 公企業及財産収入	2,763,145	485,817	485,817		485,817		2,477,328
4 使用料及手数料	1,446,653	824,444	662,294		662,294		784,359
5 國庫支出金	43,239,968	20,687,147	20,687,147		20,687,147		22,552,821
6 県 支 出 金	1,532,445	142,430	142,430		142,430		1,390,015
7 寄 附 金	828,520	199,790	199,790		199,790		628,730
8 繰 越 金	4,915,320	4,915,320	4,915,320		4,915,320		
9 雜 收 入	1,020,271	973,610	973,610		973,610		46,661
10 市 債	6,000,000						6,000,000
才 入 合 計	142,391,322	95,658,846	70,554,162		70,554,162		71,887,160

昭和31年度一般會計才出状況表 (昭和31年9月末現在)

科 目	予 算 額	支 出 済 額			予算残額
		前 期	後 期	計	
1 議 會 費	2,837,500	1,044,548		1,044,548	1,432,952
2 役 所 費	27,325,628	11,341,262		11,341,262	15,984,366
3 消 防 費	3,222,260	466,474		466,474	2,755,786
4 土 木 費	16,848,036	3,457,974		3,457,974	13,390,062
5 教 育 費	17,228,270	3,754,918		3,754,918	13,473,352
6 社會及勞務施設費	52,607,030	27,005,588		27,005,588	25,601,472
7 保健衛生費	3,148,060	1,786,105		1,786,105	1,361,955
8 産業經濟費	5,070,767	2,117,118		2,117,118	2,953,649
9 財 産 費	2,516,514	1,656,388		1,656,388	860,126
10 統計調査費	179,170	24,050		24,050	155,120
11 選 舉 費	573,430	349,107		349,107	224,323
12 公 債 費	3,797,068	1,745,439		1,745,439	2,051,629
13 諸 支 出 金	6,737,559	1,403,596		1,403,596	5,333,963
14 予 備 費	300,000				300,000
才 出 合 計	142,391,322	56,512,567		56,512,567	85,878,755

昭和31年度特別會計才入状況表 (昭和31年9月末現在) (4)

科 目	予 算 額	調定済額	収 入 済 額			予算に比し収入済額	
			前 期	後 期	計	増	減
1 公企業及財産収入	3,994,466	1,171,031	923,635		923,635		3,070,831
2 繰 越 金	500,000	423,564	423,564		423,564		76,436
3 雜 收 入	500						500
才 入 合 計	4,494,966	1,594,595	1,347,199		1,347,199		3,147,767

昭和31年度特別會計才出状況表 (昭和31年9月末現在)

科 目	予 算 額	支 出 済 額			予算残額
		前 期	後 期	計	
都市計画事業費	4,494,966	530,397		530,397	3,964,569
才 出 合 計	4,494,966	530,397		530,397	3,964,569

昭和30年度一般會計決算見込状況 (5)

科 目	予算現額	収入済額	予算現額に比し		予算現額に對する 収入済額の割合
			増	減	
1 市 税	48,933,650	45,210,023		3,723,627	92
1 普 通 税	48,883,650	45,119,170		3,764,480	92
1 市 民 税	10,496,140	8,913,835		1,582,305	85
2 固定資産税	23,984,310	21,354,896		2,629,414	89
3 自轉車荷車税	1,416,700	992,480		424,220	70
4 たばこ消費税	6,396,500	6,266,870		129,630	98
5 電氣ガス税	3,155,200	3,280,155	124,955		104
6 鑛 産 税	1,590,000	3,268,581	1,678,581		206
7 木材引取税	1,843,600	1,039,953		803,647	56
8 入 湯 税	1,200	2,000	800		167
9 廣 告 税		400	400		
2 舊法による税	50,000	90,853	40,853		182
2 地 方 交 付 税	24,166,000	24,166,000			100
3 臨時地方財政特別交付税	4,702,000	4,702,000			100
4 公企業及財産収入	1,368,508	1,095,105		273,403	80
5 使用料及手数料	1,247,950	1,360,000	13,050		109
6 國庫支出金	40,742,760	37,686,384		3,056,376	92
7 果 支 出 金	6,264,589	6,556,363	291,774		105
8 寄 附 金	2,295,000	2,360,530	65,530		103
9 繰 越 金	3,544,300	3,544,308	8		100
10 雜 收 入	230,633	685,672	455,039		297
11 市 債	4,000,000	2,600,000		1,400,000	65
12 繰 入 金	300,000	218,406		81,594	73
才 入 合 計	137,795,390	130,184,791		7,610,599	94

科 目	予算現額	支出済額	不 用 額	予算現額に對する 支出済額の割合
1 議 會 費	2,229,984	2,050,336	179,648	92
2 役 所 費	25,554,990	23,719,313	1,835,677	93
3 消 防 費	3,297,800	3,067,668	230,132	93
4 土 木 費	21,890,409	20,499,704	1,390,705	94
5 教 育 費	12,967,450	12,213,394	754,056	94
6 社会及勞働施設費	50,459,189	44,908,351	5,550,838	89
7 保健衛生費	2,836,320	2,151,548	684,772	76
8 産業經濟費	4,897,258	4,255,640	641,618	87
9 財 産 費	812,195	710,034	102,161	87
10 統計調査費	434,176	405,330	28,846	93
11 選 舉 費	850,202	788,745	61,457	93
12 公 債 費	4,752,907	4,429,494	323,413	93
13 諸 支 出 金	6,512,920	6,038,914	444,006	93
14 予 備 費	299,590	299,590		
才 出 合 計	137,795,390	125,269,471	12,525,919	91

昭和30年度特別會計都市計画事業費決算見込状況 (6)

科 目	予算現額	収入済額	予算現額に比し		予算現額に對する 収入済額の割合
			増	減	
1 公企業及財産収入	2,928,080	1,031,847		1,896,233	35
2 繰 越 金	300,000	308,018	8,018		103
3 雜 收 入	100	216	116		216
才 入 合 計	3,228,180	1,340,081		1,888,191	42

科 目	予算現額	支出済額	不 用 額	予算現額に對する 支出済額の割合
1 都市計畫事業費	3,228,180	916,517	2,311,663	28
才 出 合 計	3,228,180	916,517	2,311,663	28

市民の市税負担の状況 (7)

税目	調定濟額	同左一世 當 b	同左一人 當 b
市普通税	47.461.291 ^円	7.232 ^円	1.513 ^円
市通民税	46.288.158	7.053	1.465
市定民税	11.909.430	1.815	377
市固資産税	22.755.155	3.467	720
市轉車荷車税	2.326.607	355	74
市消費ス税	2.888.290	440	91
市ガ税	1.049.833	160	33
市氣産税	1.221.600	186	39
市材引取税	4.136.643	630	131
市廣告湯税	600		
市廣入税	1.173.133	179	37
舊法による税			

五、公營事業の經理の狀況

①火葬場經理の狀況

收入、火葬件数二二件
收入額二〇、五二〇円
支出、予算額一〇四、二〇〇円
支出額一三、五七九円

②屠場經理の狀況

收入、屠畜数牛一二頭、馬二〇頭、豚五一〇頭、その他一一三頭
收入額一〇一、六五〇円
支出、予算額一〇八、六〇〇円、支出額一二、六七〇円

六、市債及び一時
借入金について

(一)市價現在高表別表(8)

七、市税徴税成績及び市税滞納調について

(一)市稅滯納狀況調別表(10)
(二)市稅徵收成績調別表(11)

むすび

財政の動向及び財政方針
以上によつて本年九月三十

市 債 現 在 高 表 (8)

目 的 別		4月1日現在 未償還額	今 期		差引現在高
			借入額	償還額	
教 育 費		10.021.772		682.211	9.339.561
消 防 費		858.808		74.056	784.752
土 木 費		3.939.964		164.893	3.775.071
失 業 對 策 費		1.700.000	1.000.000		2.700.000
住 宅 費		1.145.912	1.600.000	9.223	2.736.689
計		17.666.456	2.600.000	930.383	19.336.073

一時借入金について(9)

借入先	4月1日現在 未償還額		借入 年 月 日 金 額		償還 年 月 日 金 額	
	昭和	円	昭和	円	昭和	円
株式會社 常陽銀行高萩支店			31.4.64	000 000	31.4.20	4.000 000

日現在における本市の財政の大要を申し述べたが、現在の市財政がいかに容易でないかがお解りのことと思います。

常に健全財政を念頭に置き市民の福祉に係のある諸事業については、財源の許す限りこれを遂行すべく努力いたしております。当市県は地方交付税、地方債、国県支出金等国や県に財源を依存せざるを得ない状況で、自主的な市財政の運営には、幾多の困難が予想されます。然しながら、いかなる苦難や障害にも屈することなく

市 税 滞 納 状 況 調 (1 0)

税 目			滞 納 額		
			過年度分	現年度分	計
市	民	税	6.291.915 ^円	834.744 ^円	7.126.659 ^円
固 定 資 産 税			8.906.335	2.566.759	11.473.094
自 轉 車 荷 車 税			1.001.577	477.060	1.478.637
電 氣 ガ ス 税			44.620		44.620
廣 告 引 取 税			300		300
木 材 告 白 税			1.554.625	1.896.619	3.451.244
舊 法 に よ る 税			1.167.983		1.167.983
計			18.967.355	5.775.182	24.742.537

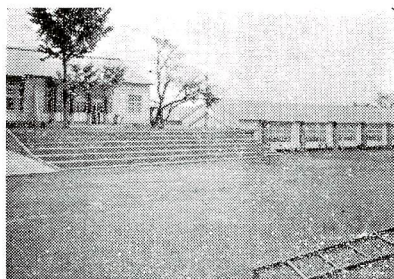
理想の實現に向つて、堅
實に進んで行くことこそ高
蔵市建設への道だと思ひ
ます。今後の財政方針とし
ては、税收入を初めとした
主財源の確保を期すると共
に、極力経費の節減を図り
又事業の効率的施行によつ
て、不用不急の経費を抑制
して收支の均衡を保つよう
努力して行く考えであります。

市民各位にも市財政に深い
御理解を寄せられ納税その
他を通じて一層の御協力を
お願いする次第であります
(總務課財政係)

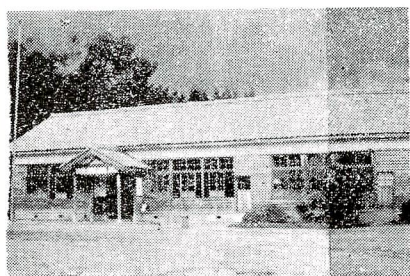
市 税 徴 税 成 績 調 (昭和31年9月30日現在) (11)

税 目	現過年度の別	調 定 額	収 入 済 額	未 収 入 額	収 入 歩 合
市 民 税	現過年度	5,253,927円	4,419,183円	834,744円	84%
	現過年度	6,655,503	363,588	6,291,915	55
	現過年度	11,909,430	4,782,771	7,126,659	40
固 定 資 産 税	現過年度	12,202,470	9,635,711	2,566,759	79
	現過年度	10,552,685	1,646,350	8,906,335	16
	現過年度	22,755,155	11,282,061	11,473,094	50
自 転 車 荷 車 税	現過年度	1,254,790	777,730	477,060	62
	現過年度	1,071,817	70,240	1,001,577	7
	現過年度	2,326,607	847,970	1,478,637	36
た ば こ 消 費 税	現過年度	2,888,290	2,888,290	—	100
	現過年度	998,253	998,253	—	100
電 気 ガ ス 税	現過年度	51,580	6,960	44,620	13
	現過年度	1,049,833	1,005,213	44,620	96
鑛 産 税	現過年度	1,221,600	1,221,600	—	100
	現過年度	2,528,024	631,405	1,896,619	25
木 材 引 取 税	現過年度	1,608,619	53,994	1,554,625	3
	現過年度	4,136,643	685,399	3,451,244	17
広 告 税	現過年度	600	300	300	50
入 湯 税	現過年度	—	—	—	—
旧 法 による 計	現過年度	1,173,133	5,150	1,167,983	0.4
合 計		47,461,291	22,718,754	24,742,537	48

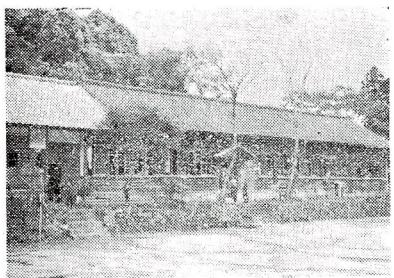
教育施設紹介 其の三 現在



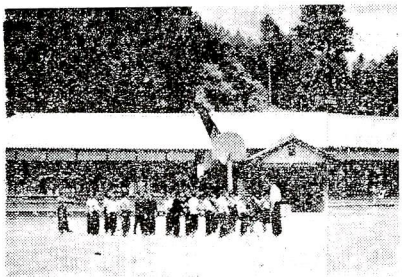
秋山小学校 生徒数 1,501



上君田小学校 生徒数 124

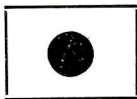


下君田小学校 生徒数 90



横川小学校 生徒数 117

1月1日 元日
1月15日 成人の日



祝祭日には国旗を掲げましょう。

元旦の新聞に知名人の迎年の辞がいやと云う程、いや読みきれない位載っている。しかも毎年の事である。それらの記事は各階層の人々が多種多様な角度から論じているが、私共高森市民の生活に身近に感ぜられるのはお正月の新旧問題である。

新生活とはまじめに過去を反省し、古い悪習を改めてもつとも意義のある正しい生活のやり方に切替えて行くことだと云はれている。本県でも新生活が叫ばれて既に六年、着々実を結びつつあることは喜ばしいことであるが一人々々の生活は改善出来ても、市民全体の実行となると容易に出来ないところ、新生活のむずかしさがあるわけで、当市としても正月は新暦で、盆は月おくれでと提唱して二ヶ月

奥様が懸命に家庭経済を切りつめて毎日の食生活は勿論衣服類まで繕ういながら引締めた日常生活を送って居るのに反し、夫は遊技に夢中になり気儘な娯楽を求め、一日に参百円はおろか五百円、或は千円と言う莫大な金を浪費しているとの話を巷に耳にするが千円と云えば参百円の俸給者が三分、吞まず喰わず仿らかなければならない勘定になる。奥様が頭を痛めながら台所

の経済を計り、一家の生活をより向上する為に努力していても外にあつて夫の無計画な金銭の浪費こそ奥様の努力も水泡に帰するであらう。私は明日への勤勞の糧として娯楽を求め、慰安を求め、ことに異存はないけれども問題は熱中しないことである。程度を越さないことである。如何に生活の改善を唱え、生活の向上を叫んでも夫婦離反した行動をしては到底

本県の生んだ童謡詩人野口雨情氏の伝記を「雨情物語」として東京映画株式会社が映画化する事になり、原作、音羽時雨、監督久松静児のもとに主役森繁久弥、原節子が予定されている。この映画の中に、雨情が

馬市ロケーション

雨情物語

●ただいま歳末特別貯蓄運動の期間です。今年は一、貯蓄で繁栄への道を固めましょう。二、お手もとの現金はひとまず貯蓄しましょう。三、歳末もムダをはぶいて貯蓄しましょう。この三つを特に実行いたしましょう。

望み得ないことであつて、要するに夫婦相和合して計画を樹て、家庭の向上発展を図らなければならないと思ふ。夫は言う「俺が仿らいて家族を養つて居るのだ、家族の者に不自由をかけるわけば何をやろうと俺の勝手だ一など。」

至極最も無理窟ではあるが奥様の家庭にあつての節約を思ふ時、湯水の様な金の使い方は出来るものではない。こんな家庭はないでしようか。大いに反省しなければならぬと思ふ。安良川十六 (桜井利右工門)

お正月を迎えて

こんな家庭はありませんか？

年、まだまだ実行出来ないのはどうしたことだろう。新生活はみなさん一人々々の心から出発し、これを実行するに沢山の仲間がみるるの力を併せてこれを勇敢に推進することで、新正月も、月おくれ盆も一人では出来ないことは云うまでもあるまい。今年も余ところ一ヶ月、新しい年を迎えるに当つて先づ身近かな日常生活をよりよいものにするために、年末年始のきり替えと旧正月の閉止をしうではありませんか。

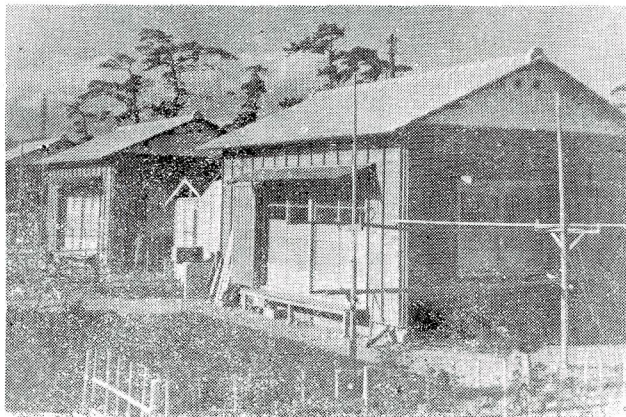
第一地域（高萩地区、松岡地区）

新農村建設計画部落懇談

會開催

從來要なわれた農村経済更
正計画は県や市町村が農民
に相談せず、農民が知ら
ないうちに計画され強制的
に農民に協力させた、ゆわ
ゆる下から盛りあがったも
のでなく上で計画を立て、
乗り遅れては損をするぞと
引張つて来た事業でもあつ
たわけであるが今回の新農
村建設計画はどこまでも農
民が主人公となつて農業経
営計画を立て、事業を推進
することと県や市町村其の

他関係官庁の職員が農民に
協力して作りあげることで
ある而して下から積み上げ
た計画であつてこそ農民達
が自分達が計画したのだと
云う自覚をもつて本當の仕
事が出来るわけでありま
す。繰り返して申しますが果
の接衝によつて造りあげた
り、また今回設置された推
進協議会と市役所で計画す
るようなことではなく農民
とじっくり話合つて農家自
身がつくりあげる計画であ



ることが今回実施される新
農村建設計画の目的でもあ
るので左記日程により懇談
会を開き皆様とよく協議し

て計画したいと存じま
すので農家の経営主は全員
参集せられ忌憚のない御意
見をどしどし発表されて農

家が益々繁榮され立派な農
村が建設できる計画を樹立
することに絶大なる御協力
を願う次第であります。

高萩地区部落懇談会日割表

月日	区分	午前	午後
十一月三日 (月曜)	北町一、二、 三、仲町一、 二、浜野	石 定雄氏宅	安良川北部 矢代初太郎氏宅
十一月四日 (火曜)	安良川、中部	大高 一雄氏宅	安良川南部 佐川 豊蔵氏宅
十一月五日 (水曜)	合高萩 駒本原	柴田 勝雄氏宅	柳町 山手 公民館
十一月六日 (木曜)	秋山中 西、東	秋山中 公民館	北方、秋山 山手 公民館
十一月七日 (金曜)	島名一、二、 三、南	島名 公民館	秋山下全部 秋山下 公民館
十一月八日 (土曜)		石滝東西 上合	島名三、北 島名 公民館

市営住宅
近く完成

今年の市営住宅は三十年度
に引續いて浜野の同じ場所
に建築され、去る九月着工
今月下旬にはその完成をみ
るはずであります。

土木課市営住宅係では入居
希望の申込みを受け、既に
六〇名と云う倍数の申込み
もあつたので一応打ち切り、
申込者の実態を調査の上、
適否を決め、若し人員超過
の場合は抽せん会を開いて
入居者を決定することにな
つております。

市営住宅の種類は第一種
(十坪半)一五戸、第二種
(八坪半)一五戸、計三〇戸
このほか、県営による建売住宅八戸も一
月下旬完成の見込みであ
ります。

松岡地区部落懇談会日割表

月日	区分	午前	午後
十二月十一日 (火曜)	二本杉、前の内、 豊栄、千代田南、 二坑、滝の脇	北久保 和野、開拓	沼田 一成氏宅 船山 春美氏宅
十二月十二日 (水曜)	石崎、雄の尾、殿 町内、永田、土手 上、下	下手綱 公民館 潮田 勝男氏宅	石河原一、二 大森 政氏宅
十二月十三日 (木曜)	赤浜一ノ南、中二 ノ上、下、赤浜三 ノ上、下、赤浜三 ノ上、下、赤浜三	高戸 公民館 赤浜 願成寺	大工町、杉内 茂又捨次郎氏宅
	石城、北城東、西 石城	高戸 公民館	小和田、箱内、杉 神代 哲夫氏宅
	下町一、二	斎藤 喜一氏宅	川側新、川側下、 共栄
	原、北久保	長久保忠男氏宅	神代 完夫氏宅

火災予防週間

十一月二十六日より一週間
市消防団では全国火災予防
週間の行事として、カマド
の点検、防火演習、火災予
防の普及、其他各種の行事
を行った。

心のゆるみは火事のもと
これから火災のシーズンに
入りますので期間中のみで
なく常に火の用心をいたし
ましょう。そして今年こそ
無火災で吾等の尊い人命や
財産を守りましょう。

●ポンプ百より用心一つ
●出して消すより出さぬ
用心